

USEUM NEXT（仮称）運営業務委託
質問・回答

No.	質問	回答
1	昨年度事業までは、「佐賀県の次世代を担う料理人による期間限定レストランイベント『USEUM SAGA』を開催することで、佐賀が誇るべき「食材」と「器」の付加価値を高めるとともに、これら地域資源を磨き上げることのできる県内料理人の存在を国内外に広く発信することを目的とする。」とありました。 今年度は、「『<u>佐賀県の次世代を担う料理人による期間限定レストランイベント「USEUM NEXT（仮称）」（ユージウムネクスト）を開催</u>』することで、佐賀が誇るべき「食材」と「器」の付加価値を高めるとともに、これら地域資源を磨き上げることのできる県内料理人の存在を国内外に広く発信することを目的とする。」とあります。 このことに関して、以下の 7 点について具体的に教えてください。 ①「USEUM SAGA」から「USEUM NEXT」に名称を変更した、また「（仮称）」とありながらも名称を変更しようと考えた具体的な理由は？	昨年度まで開催してきた「USEUM SAGA」は人間国宝等の器を使用したレストランイベントで、毎回満席となっているものの、リピーターの方も多く、取組の訴求先が一定の層に留まっていました。また、出演していただく県内料理人は、世界的なレストランガイドブックに掲載されているような方を候補としていましたが、対象となる料理人が限られることも課題となっています。 このため、イベントで使用する器にはこれまでにない窯元や作家に参画していただくとともに、次世代を担う料理人の知識や技術、感性等をブラッシュアップし、表現・発信する場として、従来開催してきた「USEUM SAGA」を発展するかたちで「USEUM NEXT」（仮称）に名称を変更することとしました。 イベント名は今後決定するため、仮称としています。

USEUM NEXT（仮称）運営業務委託
質問・回答

2	②「USEUM SAGA」から 「USEUM NEXT」に名称が変わる、あるいは変えようと考えていることで、起用する県内・県外料理人はどう変わることを期待しているか？	これまで開催した「USEUM SAGA」では、世界的なレストランガイドブックに掲載されている県内レストランの料理人や、そうした料理人が注目する将来性のある料理人を候補としていました。 今回は、次世代を担う人材を発掘・育成するため、地域の食材や器の魅力を高めて発信する意欲を持った料理人を起用することを想定しています。 県外料理人についても、同様の意欲を持った方を提案していただきたいと考えています。
3	③「USEUM SAGA」から 「USEUM NEXT」に名称が変わる、あるいは変えようと考えていることで、コラボレストランイベントで集客したいターゲットはどう変わることを期待しているか？	これまでの参加者に加え、参加対象のすそ野を広げることを目指しています。 「USEUM SAGA」やサガマリアージュプロジェクトをご存じない方、普段こうしたレストランイベントに馴染みがない方にもご参加いただき、佐賀県の食と器の魅力を届けたいと考えています。

USEUM NEXT（仮称）運営業務委託
質問・回答

4	④「USEUM SAGA」から「USEUM NEXT」に名称が変わる、あるいは変えようと考えていることで「国内外への発信」で伝える対象や発信方法はどう変わることを期待しているのか？	食や器に一定の関心を持たれている層に加え、幅広い方に届くような発信を期待しています。 広報については、仕様書4(4)広報関連に記載のとおりですが、具体的な媒体や発信方法は、「USEUM SAGA」やサガマリアージュプロジェクトをご存じない方にも効果的と思われるものを提案していただきたいと考えています。
5	⑤これまでの USEUM SAGA で得られた具体的な成果と具体的な課題、そして今回、名称変更を検討されている USEUM NEXT で期待する成果は？	イベントを通じた情報発信による佐賀県の存在価値の向上に加え、料理人、生産者、窯元等が交流することで、人的ネットワークの拡大や、県産食材や器等の新規取引など一定の成果を挙げています。 一方で、1の回答に記載のとおり、取組の訴求先が一定の層に留まっていることや、対象となる料理人が限られることが課題となっています。 そこで、「USEUM NEXT」（仮称）では、次世代を担う料理人の発掘・育成をしながら、参加者のすそ野を広げることによって、より多くの方に佐賀県の食材や器の価値を知っていただけることを期待しています。

USEUM NEXT（仮称）運営業務委託
質問・回答

6	⑥毎年度、事業予算は減りながらも果たすべき目的や、そのための内容はほとんど変わらないが、その中でも事務局として事業の中で重要視している成果指標や優先順位が高いと考えている業務内容は？	本イベントの円滑な運営、情報発信を重要視しています。一方で、今回はこれまで実施してきた「USEUM SAGA」の世界観を踏襲するものではなく、幅広い方が参加しやすい内容を想定しているため、会場内のサインや空間装飾の優先順位は低いと考えています。 また、仕様書中「必要に応じた（て）」としている業務については、状況に応じて協議の上判断となるため、それ以外の業務を必須としています。 成果については、USEUM SAGA やサガマリアージュプロジェクトをご存じない方に多く参加していただくことを一つの指標として考えています。
7	⑦『USEUM SAGA』のロゴマークの使用可否について。（名称が変更になった場合、USEUM SAGA のロゴは広報や装飾物の中で使用せずに、新しく『USEUM NEXT』のロゴマークを事務局側で準備し、受託者に提供するものになるのか？）	「USEUM SAGA」のロゴマークの使用は予定していませんが、「USEUM NEXT」（仮称）のロゴマークは、必要に応じて本委託業務の範囲外で作成を検討する可能性があります。